

J R西日本あんしん社会財団

いのちのセミナー (WEB)再配信

視聴者の皆さまからのご要望に応え、
2022年度に配信したセミナーを改めてお届けします！

2022年度
第2回

すがわら なおき
菅原 直樹

演題

「老いと演劇」
～認知症の人と“いまここ”を楽しむ～



劇作家・演出家・俳優／劇団「老いと演劇」OiBokkeShi主宰／介護福祉士

繋がりが近い方ほど「元にもどって欲しい」という気持ちが働き、認知症に伴う言動をつい正したくなりますが、正すのではなく、相手が見えている世界を受け入れ、尊重することが大切。“老い”に対して、いかに寄り添い、いかに生きるかを演劇を通じて考えます。「この世は舞台、人はみな俳優」。演技をする上で大切とされる「いまここをともに楽しむ精神」は、認知症介護のストレスを軽減し、自身の老いをより豊かなものへと変えていきます。みなさんも俳優になったつもりで老いを楽しんでみませんか？

2022年度
第3回

ふじい りえ
藤井 理恵

演題

「たましいの安らぎ」
～病院チャプレンのスピリチュアルケア～



元 淀川キリスト教病院チャプレン(病院牧師)

誰もが心安らかに穏やかな日々を重ねたいと願っています。しかし思いがけないかたちで病気や苦しみはやってきます。病院ではたましいの底から湧き上がる様々な問いが投げかけられます。「私の人生は何だったのか」「私に生きる意味はあるのですか」…不条理と思える現実を受けとめるには、どのような視点を持って人生を見つめればよいのでしょうか。病気や死という厳しい現実の前に立ちつつも豊かに生き抜いた方々から教えられたことを分かち合いながら、一緒に考えてみたいと思います。

2022年度
第4回

さとう けい
佐藤 慧

演題

「グリーフを抱えて生きる」
～世界の紛争地・被災地の現場から～



認定NPO法人Dialogue for People代表／フォトジャーナリスト／ライター

紛争や自然災害、様々な困難の中で、多くの人々がグリーフを抱えて生きています。「大切なもの」を失った心の空白と、人はどのように向き合っていくのか。悲しみを否定することなく、「抱えていく」ことを見守り、支えていくための社会の在り方を、各地の取材で頂いた声、そして東日本大震災で自らの家族を失った経験からお伝えします。

講演
時間

各1時間程度

配信
期間

2025年3月21日(金)から
6月30日(月)14時まで

視聴
方法

・ホームページからご視聴ください。

J R西日本財団

検索

・携帯電話のご利用マナーにご協力ください。



いのちのセミナー講演録(要約)をホームページからご覧いただけます。

<主催>公益財団法人JR西日本あんしん社会財団 お問い合わせ/TEL 06-6375-3202(平日10:00~17:00)

<協力>西日本旅客鉄道株式会社

(敬称略)



公益財団法人

JR-West Relief Foundation

JR西日本あんしん社会財団

2025. 3. 21~2025. 6. 30